

第13回 PD

パーキンソン病

ナース研修会

日時 2019年11月24日(日) 9:55~16:00

場所 TKP 札幌ビジネスセンター

赤れんが前「はまなす」

〒060-0004

札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5階

電話 011-600-2615



募集人数 140名 参加費 3,000円 申込締切 2019年11月8日
 申込方法 MDSJホームページ <http://mdsj.umin.jp/>
 (事前申し込みページよりお申込みください)



パーキンソン病は、神経難病の代表的疾患として知られています。難病は希少疾患ということで理解されていますが、パーキンソン病の患者さんは全国に約20万人と推定され、年々その数が増えています。高齢化にともなう増加だけではなく、高齢者における発症率自体が近年増えているのです。指定難病の中では、炎症性腸疾患とともにコモンな病気になっています。したがって、神経内科領域にとどまらず、いろいろな医療現場でパーキンソン病の患者さんに出会うことになります。パーキンソン病の非運動症状については、むしろ神経内科以外の診療科を受診されることがまれではありません。

PDナースには、医療のあらゆる分野で、パーキンソン病患者さんの生活を支える役割を期待されています。MDSJでは、これら社会の要請にこたえるべく、研修会を開催してきました。北海道では初の研修会となる第13回は、札幌で開催されます。北海道で活躍するパーキンソン病のエキスパートを知り、また、参加者どうしの交流のきっかけとなるようプログラムを作成しました。順天堂大学・服部信孝先生の楽しいご講演もあります。多数のご参加をお待ちしています。

オーガナイザー 菊地誠志
 国立病院機構北海道医療センター

9:55 ~ 10:00 開会のごあいさつ 菊地誠志 (北海道医療センター)

10:00 ~ 11:00 オープニングセミナー 司会 佐光一也 (中村記念病院)

1. PDの運動症状 鈴木秀一郎 (札幌医科大学)
2. PDの非運動症状・精神世界 秋本幸子 (北海道医療センター)

共催：アッヴィ合同会社

11:10 ~ 12:40 三角山セミナー；PDの治療戦略 司会 吉田一人 (旭川赤十字病院)

1. PDの薬物療法 薬物療法で困ったときは？ 川島 淳 (さっぽろ神経内科病院)
2. DATとPDナースの役割 矢部一郎 (北海道大学)
3. PDのリハビリテーション 嚥下訓練、転倒対策を含む 濱田晋輔 (北拓会神経内科病院)

共催：武田薬品工業株式会社

12:50 ~ 13:50 ランチョンセミナー 司会 菊地誠志 (北海道医療センター)

※昼食(お弁当)のご用意がございます

「パーキンソン病を解剖する」 服部信孝 (順天堂大学)

14:00 ~ 15:00 PDの療養環境整備 司会 木村 隆 (旭川医療センター)

1. PD患者・家族への在宅療養支援 レスパイトを含む 有馬祐子 (北海道医療センター)
2. PDの社会資源の利用 坪内雅行 (北海道医療センター)

15:10 ~ 15:55 PDの事例検討 司会 緒方昭彦 (北海道脳神経外科記念病院)

中坂昌子 (静明館診療所)

1. 精神症状 佐藤陽子 (北海道医療センター)
2. 退院調整 新谷 薫 (北海道脳神経外科記念病院)

15:55 ~ 16:00 閉会のごあいさつ 菊地誠志 (北海道医療センター)

MDSJ事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町KSビル
 (株)コンベンションリンケージ内
 Tel: 03-3263-8697 Fax: 03-3263-8687
 Mail: mdsj@secretariat.ne.jp